

未来につなぐ 下水道事業プラン

町田市下水道事業経営戦略

26-35

2026年3月
町田市

ごあいさつ

町田市における下水道整備は、1964年度の鶴川団地の開発とともに始まり、1971年度の町田駅周辺の事業着手で本格化しました。これ以降、市街化区域を中心に、汚水管と2カ所の下水処理場の整備を計画的に進めてきました。これにより、市民の公衆衛生環境と生活環境は飛躍的に向上しました。また、河川などの公共用水域の水質保全も大きく進展し、多様な生きものが生息できる豊かな自然環境の回復にも貢献しています。

下水道事業経営の健全化をこれまで以上に図るため、2020年4月から地方公営企業法の財務規定等を適用し、「公営企業会計」を導入しました。経営状況や事業計画が見える化し、持続的かつ安定的な経営の実現を目指すため、2021年3月に「未来につなぐ下水道事業プラン（町田市下水道事業経営戦略）」を策定し、事業を進めています。

汚水管の整備については、2013年度をもって概ね完了しました。現在は、気候変動により激甚化する豪雨などを想定した浸水対策や、大規模地震を想定した地震対策に取り組んでいます。また、下水道管の老朽化に起因する道路陥没事故などを防ぐための老朽化対策においては、「町田市ストックマネジメント計画」を策定し、計画的に施設の改築・更新を実施しています。

一方で、昨今の社会情勢の変化等から、下水道事業を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。今後は下水道管や下水処理場・ポンプ場の老朽化に伴う維持管理、改築・更新などの費用の増加や、節水意識の高まり等による下水道使用料収入の減少が見込まれます。

「経営戦略」の策定から5年が経過し、これまでの事業進捗状況や経営分析結果等を踏まえ、中長期的な課題が明らかとなりました。また、多様化するニーズに柔軟に対応し、下水道サービスを将来にわたって持続的・安定的に提供していくため、このたび「経営戦略」を改定し本計画を策定しました。

町田市は、本計画に基づき、未来につながっていく市民生活に不可欠な下水道事業の安定した経営を目指してまいります。今後とも、市民の皆様、事業者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、本計画の策定にあたり、多大なるご指導並びにご助力を賜りました「町田市下水道事業審議会」の委員各位に、厚く御礼を申し上げます。

2026年3月

町田市長

目次

| | |
|-------------------------------------|-----------|
| 第1章 経営戦略の趣旨 | 8 |
| 1. これまでの経緯と改定の趣旨 | 8 |
| 2. 経営戦略の概要 | 9 |
| (1) 位置付け | 9 |
| (2) 構成 | 10 |
| (3) 計画期間 | 10 |
| | |
| 第2章 下水道事業の現状と課題 | 11 |
| 1. 下水道事業を取り巻く社会情勢 | 11 |
| 2. 町田市下水道事業の概要 | 11 |
| (1) 下水道事業の概要 | 11 |
| (2) 行政人口の推移 | 13 |
| (3) 管渠の状況 | 15 |
| (4) 処理場の状況 | 16 |
| (5) 人口普及率と接続率 | 16 |
| (6) 有収水量と有収率 | 17 |
| (7) 組織 | 18 |
| 3. 経営戦略計画期間における進捗状況と課題 | 19 |
| (1) 事業計画の進捗状況 | 19 |
| (2) 財政の状況 | 22 |
| (3) 財務の重要業績評価指標 | 26 |
| (4) 財務以外の視点による事業振り返り | 33 |
| | |
| 第3章 下水道事業を取り巻く将来推計 | 34 |
| 1. 人口普及率と下水道接続人口の推計 | 34 |
| 2. 有収水量と下水道使用料収入の推計 | 34 |
| | |
| 第4章 経営の基本方針 | 35 |
| | |
| 第5章 効率化・経営健全化の取組み | 36 |
| 1. 経営基盤の強化 | 36 |
| (1) 人材育成 | 36 |
| (2) 資金管理・調達に関する取組み | 37 |

| | |
|--------------------------------------|-----------|
| (3) 資産の有効活用 | 37 |
| (4) 広域化・共同化の検討 | 37 |
| (5) その他経営基盤強化の取組み | 38 |
| 2. 将来を見据えた効率的・効果的な投資 | 41 |
| (1) 計画的な改築更新 | 41 |
| (2) 民間の技術力、経験などの活用 | 44 |
| (3) 未利用エネルギー・資源の有効活用 | 44 |
| (4) 電力の地産地消の取組みと低炭素電力の活用 | 45 |
| (5) 新技術の活用 | 46 |
| 3. 危機管理体制の強化 | 48 |
| (1) 大規模災害に備えた取組み | 48 |
| (2) 危機管理などの体制強化 | 48 |
| 4. 公共用水域の水質保全 | 51 |
| (1) 下水処理場の運転管理 | 51 |
| (2) 事業場（工場や飲食店など）の指導 | 51 |
| | |
| 第6章 10カ年の事業計画 | 52 |
| 1. 環境に配慮した施設整備・より良い環境づくりの推進 | 55 |
| (1) 住環境の改善 | 55 |
| (2) 河川の水質向上への貢献 | 57 |
| (3) 地球温暖化対策と資源の循環利用 | 58 |
| 2. 災害に強いまちづくりの推進・安心な暮らしの構築 | 59 |
| (1) 浸水対策の推進 | 59 |
| (2) 地震対策の推進 | 64 |
| 3. 経営の効率化及び健全化・より良い下水道サービスの導入 | 70 |
| (1) 効率的・効果的な維持管理の推進 | 70 |
| (2) 計画的な改築更新 | 74 |
| (3) 持続可能な下水道財政基盤の確立 | 78 |
| | |
| 第7章 投資・財政計画 | 79 |
| 1. 事業費見通し | 79 |
| (1) 支出の積算条件の設定 | 79 |
| (2) 収益的支出 | 79 |

| | |
|-------------------------------|-----------|
| (3) 資本的支出 | 80 |
| 2. 財源見通し | 81 |
| (1) 収入の積算条件の設定 | 81 |
| (2) 収益的収入 | 83 |
| (3) 資本的収入 | 83 |
| 3. 財政見通し | 84 |
| (1) 当年度純利益の状況 | 84 |
| (2) 資本的収支の不足額の状況 | 85 |
| (3) 資金の状況 | 86 |
| (4) 企業債残高と元利償還費の推移 | 87 |
| 4. 投資・財政計画（10カ年の収支見通し） | 88 |
| | |
| 第8章 経費回収率向上に向けたロードマップ | 90 |
| 1. 経費回収率の今後の見込み | 90 |
| 2. 下水道使用料改定の必要性 | 90 |
| 3. 経費回収率向上に向けたロードマップ | 92 |
| (1) 経費回収率向上に向けた取組みと実施予定時期 | 92 |
| (2) 業績目標 | 92 |
| | |
| 第9章 進捗管理 | 93 |
| 1. 進捗管理の概要 | 93 |
| 2. 進捗管理において活用する指標 | 94 |
| 3. 経営指標の目標 | 95 |
| | |
| 【資料編】 | 96 |
| 1. 用語集 | 96 |
| 2. 原価計算表 | 98 |
| 3. 策定経緯 | 103 |
| 4. 委員の構成 | 104 |

本文中に*マークが付いている用語については、
P.96以降の「用語集」に説明を記載しています。

